



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 タクマ

コード番号 6013 URL <http://www.takuma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 手島 肇

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 泉 雅彦

TEL 06-6483-2610

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	18,318	27.8	△538	—	△340	—	△253	—
23年3月期第1四半期	14,328	△18.9	△964	—	△684	—	△885	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △220百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,559百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△3.07	—
23年3月期第1四半期	△10.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	95,610	23,150	24.0
23年3月期	100,848	23,901	23.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 22,933百万円 23年3月期 23,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の第2四半期末及び期末の配当予想については未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	101,000	13.3	4,700	31.9	5,500	25.1	4,500	147.1	54.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの業績管理については年次のみで行うこととしているため、第2四半期連結累計期間の業績予想を開示しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	87,799,248 株	23年3月期	87,799,248 株
24年3月期1Q	5,116,756 株	23年3月期	5,116,300 株
24年3月期1Q	82,682,492 株	23年3月期1Q	82,692,998 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は安定した配当を維持することを基本としておりますが、経営環境の先行きが不透明な状況にあることから、現時点では配当予想を未定としております。配当予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の被害により、甚大な影響がもたらされた景気に回復の基調も見られますが、電力需給の逼迫、雇用情勢の低迷、原油価格の上昇のほか、その後の為替相場での円高など依然として厳しい状況にあります。

このような経済情勢の下で、震災復興に向けた瓦礫処理のほか、再生可能エネルギーにも注目が集まり当社のバイオマス発電プラントなどの需要も見込まれていますが、まだこれらが受注に結びつくという状況にはなく、当第1四半期連結累計期間の受注高は21,655百万円となり、大型のごみ処理施設建設工事を相次いで受注していた前年同期に比べ11,974百万円(△35.6%)の減少となりました。売上高については18,318百万円と前年同期に比べ3,989百万円(+27.8%)の増加となりました。また、受注残高については92,149百万円となりました。

損益面においては、当第1四半期連結累計期間の営業損失は538百万円、経常損失は340百万円、四半期純損失は253百万円となりましたが、売上高が増加したことから前年同期と比べ、それぞれ426百万円、343百万円、632百万円の改善となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の事業形態として、上半期に比較して下半期が多くなる傾向にあります。また、上半期においても、第1四半期の売上高に比較して第2四半期の売上高が多くなる傾向にあります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	売上高	営業損益	受注残高
環境・エネルギー（国内）事業	14,009	13,795	209	79,326
環境・エネルギー（海外）事業	1,762	480	48	4,438
民生熱エネルギー事業	4,834	3,173	△298	5,035
設備・システム事業	1,202	1,099	△105	3,815
計	21,808	18,549	△145	92,615
調整額	△152	△230	△392	△465
合計	21,655	18,318	△538	92,149

[環境・エネルギー（国内）事業]

受注高は14,009百万円と前年同期に比べ14,104百万円(△50.2%)の減少となりましたが、受注していた大型のごみ処理施設建設工事が順調に進ちよくしていることなどにより、売上高については13,795百万円と前年同期に比べ4,590百万円(+49.9%)の大幅な増加となりました。営業損益面では、前年同期の損失から改善し、209百万円の利益となりました。

[環境・エネルギー（海外）事業]

東南アジアでのバイオマス発電ボイラの受注などにより、受注高は1,762百万円と前年同期に比べ1,586百万円（+906.2%）の増加となりました。また売上高については480百万円と前年同期に比べ453百万円（△48.6%）の減少となりましたが、営業損益面では、前年同期の損失から改善し、48百万円の利益となりました。

[民生熱エネルギー事業]

主力製品の貫流ボイラ、温水ヒーター等における市場占有率の向上、これらの保守契約等の更新需要確保に努めており、受注高は4,834百万円と前年同期に比べ467百万円（+10.7%）の増加となりましたが、売上高は3,173百万円と前年同期に比べ226百万円（△6.7%）の減少となりました。営業損益面では、298百万円の損失となりました。

[設備・システム事業]

半導体産業用設備等の需要は引続き回復してきており、受注高は1,202百万円と前年同期に比べ97百万円（+8.9%）の増加となりました。また、売上高は1,099百万円と前年同期に比べ98百万円（+9.8%）の増加となりましたが、営業損益面では、105百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は95,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,238百万円（△5.2%）の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の回収が支払手形及び買掛金の決済を大きく上回ったこと等により、現金及び預金が19,147百万円の増加となった一方で、受取手形及び売掛金が25,155百万円の減少となったことによるものであります。

負債は72,459百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,487百万円（△5.8%）の減少となりました。主な要因は、返済により借入金が4,182百万円の減少となったことによるものであります。

純資産は23,150百万円となり、前連結会計年度末に比べ751百万円（△3.1%）の減少となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.5%から24.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から現時点で変更はありません。

国内においては、一般廃棄物処理プラント事業ではごみ処理施設の新設、更新需要が、エネルギープラント事業においても化石燃料に比べた経済的優位性や環境負荷低減効果から、燃料転換をはかれるボイラプラントや再生可能エネルギーとしてのバイオマス発電プラントなどエネルギー関連の需要が引き続き見込まれており、これらの受注に努めてまいります。また、海外においてもバイオマス発電ボイラを相次いで受注しており、今後とも増加してきている需要の獲得に努めてまいります。

このような状況の中、当社グループは、一般廃棄物処理プラント事業を中心とする国内環境・エネルギー事業に経営資源を集中し、グループ全体でリスク管理及びコスト管理を徹底することにより、一層の競争力強化に向けて取り組んでおります。

当期の当社グループの業績につきましては、前連結会計年度末での受注残高が積み重なっていたこともあり、売上高は101,000百万円と前連結会計年度に比べ11,860百万円(+13.3%)の増加、営業利益は4,700百万円と前連結会計年度に比べ1,137百万円(+31.9%)の増加、経常利益は5,500百万円と前連結会計年度に比べ1,103百万円(+25.1%)の増加、当期純利益は4,500百万円と前連結会計年度に比べ2,678百万円(+147.1%)の増加となる見通しであり、第9次中期経営計画として目指しておりました、最終年度での5,000百万円以上の経常利益を達成する見込みです。

なお、当社グループの事業では、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけて進ちょく、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期での売上高が他の四半期と比較して著しく大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしているため、第2四半期連結累計期間の業績予想を開示しておりません。

・上記の業績見通しには、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。したがって、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

②税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,271	35,419
受取手形及び売掛金	43,534	18,378
有価証券	3	3
たな卸資産	4,609	6,032
その他	5,243	5,318
貸倒引当金	△33	△47
流動資産合計	69,629	65,104
固定資産		
有形固定資産	12,838	12,688
無形固定資産		
のれん	2,159	2,046
その他	322	310
無形固定資産合計	2,481	2,357
投資その他の資産		
投資有価証券	10,902	10,589
その他	5,758	5,630
貸倒引当金	△762	△761
投資その他の資産合計	15,898	15,459
固定資産合計	31,219	30,505
資産合計	100,848	95,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,508	25,396
短期借入金	16,817	14,070
未払法人税等	206	67
賞与引当金	1,505	880
製品保証引当金	368	355
工事損失引当金	73	50
その他	5,269	9,034
流動負債合計	52,749	49,854
固定負債		
長期借入金	14,294	12,858
退職給付引当金	6,478	6,607
役員退職慰労引当金	251	187
負ののれん	2,510	2,307
その他	662	642
固定負債合計	24,197	22,604
負債合計	76,946	72,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,844	3,844
利益剰余金	9,869	9,092
自己株式	△3,605	△3,605
株主資本合計	23,475	22,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	716
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	△555	△481
その他の包括利益累計額合計	193	234
少数株主持分	231	217
純資産合計	23,901	23,150
負債純資産合計	100,848	95,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	14,328	18,318
売上原価	11,485	15,105
売上総利益	2,843	3,213
販売費及び一般管理費	3,808	3,751
営業損失(△)	△964	△538
営業外収益		
受取利息	17	20
受取配当金	120	136
持分法による投資利益	56	108
負ののれん償却額	203	203
その他	94	37
営業外収益合計	492	505
営業外費用		
支払利息	111	153
為替差損	56	15
その他	44	139
営業外費用合計	212	308
経常損失(△)	△684	△340
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51
貸倒引当金戻入額	11	—
特別利益合計	11	51
特別損失		
固定資産処分損	4	—
訴訟損失引当金繰入額	268	—
その他	8	—
特別損失合計	281	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△955	△289
法人税等	△64	△31
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△890	△257
少数株主損失(△)	△5	△4
四半期純損失(△)	△885	△253

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△890	△257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△617	△27
繰延ヘッジ損益	—	△8
為替換算調整勘定	△51	73
その他の包括利益合計	△668	36
四半期包括利益	△1,559	△220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,547	△212
少数株主に係る四半期包括利益	△12	△8

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

持分法適用関連会社の変更

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増した㈱市原ニューエナジーを持分法の適用の範囲に含め、保有する全株式を譲渡した㈱ミダックふじの宮を持分法の適用範囲から除外しております。

(5) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,096	934	3,329	967	14,328	—	14,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108	—	70	33	211	△211	—
計	9,205	934	3,399	1,001	14,540	△211	14,328
セグメント利益又は損失(△)	△168	△85	△221	△115	△591	△373	△964

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△373百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△419百万円及びその他調整額46百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,733	480	3,158	945	18,318	—	18,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	—	15	153	230	△230	—
計	13,795	480	3,173	1,099	18,549	△230	18,318
セグメント利益又は損失(△)	209	48	△298	△105	△145	△392	△538

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△392百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△441百万円及びその他の調整額48百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。